

人 文 学 部
共通科目

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20101	人文学基礎演習Ⅰ [HC]	必	春学期	2	1	鳥巢 義文
他の科目との関連						履修対象学科: 人類文化

【講義内容】 本演習では、キリスト教学を研究するために必要な方法論や手続きを学ぶ。研究テーマに応じた資料の収集また取り扱い方を図書館にて具体的に体験し、実際に文献を研究して報告また討論しながら、論文やレポートの作成方法を修得する。また、こうした全過程において、キリスト教学研究に必要な術語と基本的内容を吟味し、理解する。

- 【講義計画】**
- 1 オリエンテーション
 - 2 図書館利用について (1)
 - 3 図書館利用について (2)
 - 4 基礎的文献を読む (1)
 - 5 基礎的文献を読む (2)
 - 6 基礎的文献を読む (3)
 - 7 レポート作成について (ワード、電子メールの使用) (1)
 - 8 レポート作成について (ワード、電子メールの使用) (2)
 - 9 研究発表の実践 (1)
 - 10 研究発表の実践 (2)
 - 11 研究発表の実践 (3)
 - 12 研究発表の実践 (4)

【評価方法】 出席、課題に対する回答や討論への参加、またレポートないし筆記試験による。

【テキスト】 講義中に示唆する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20102 ┆ 20104 20122 ┆ 20124	人文学基礎演習Ⅰ・Ⅱ [HA]	必	春学期 秋学期	各2	1	谷口 佳津宏 石原 美奈子 大塚 達朗
他の科目との関連						履修対象学科: 人類文化

【講義内容】 人文学基礎演習Ⅰ：人文学の諸領域を学ぶための基礎となる知識、技法を習得することを目的とする。そのために、文献探索の方法、コンピュータの利用、レポートの書き方について学ぶとともに、人文学各領域の基礎的な論文を取り上げて購読・討議することによって、さまざまな問題について批判的に検討する態度を養う。

人文学基礎演習Ⅱ：人文学基礎演習Ⅰで習得した知識、技法を活用し、少人数グループごとに研究テーマを設定し、必要な資料を収集・整理するとともにグループごとの発表・討論を行う。

【講義計画】 春学期（人文学基礎演習Ⅰ）には、情報機器の操作と図書館講習をおこなうとともに、人間と文化の研究にとってごく基礎的な思考のトレーニングをおこなう。なお、コンピューター教室の割り当て如何によっては、情報機器関連の講習を一度の期間にまとめて消化できない可能性もある。その場合には何度かに分けて消化するなど弾力的に対応することになる。

秋学期（人文学基礎演習Ⅱ）には、2年次以降のより専門的な学習のために、(1)哲学・人間学系、(2)文化人類学系、(3)考古・文化史系それぞれの内容に関わるような基礎的学習を順次おこなう。

【評価方法】 春学期・秋学期ともそれぞれ、出欠状況、授業態度、課題発表・討論、レポート、試験等を総合的に判断して評価する。基礎演習という授業の性格から、履修者にはたびたび宿題やレポートを課すことになる。この点は覚悟してほしい。また、たとえば、図書館講習の際には自分で文献検索を行いその結果を報告する、電子メールの学習に際しては教員へメールを実際に送信してみるなど、各自が学習した作業を実際にできるかどうかを評価の対象となる。

履修生は2HDのフロッピーディスク2枚以上を予め購入し、必ず授業の際にもって来ること。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20105 20106	人文学基礎演習 I [HP]	必	春学期	2	1	加藤 隆雄 林 雅代 神谷 俊次	
他の科目との関連						履修対象学科	心理人間

【副題】 人間科学研究法基礎

【講義内容】 人文学の諸領域を学ぶための基礎となる知識、技法を習得することを目的とする。そのために、文献探索の方法、コンピュータの利用、レポートの書き方について学ぶとともに、人文学各領域の基礎的な論文を取り上げて講読・討議することによって、さまざまな問題について批判的に検討する態度を養う。

【講義計画】 心理人間学科で、教育学や心理学、人間関係学を学ぶための基礎となる知識や技法を習得することを目的とする。

- (1) 授業概要説明、講読文献説明
- (2) パソコンの基礎、Windowsの基本操作、日本語入力
- (3) ワードプロソフトWORD講習
- (4) 表計算ソフトEXCEL講習
- (5) 電子メール
- (6) インターネット
- (7) 図書館利用講習（初級）
- (8) グループ別講読文献検討
- (9) レポートの書き方
- (10) 文献講読1
- (11) 文献講読2
- (12) 文献講読3

【評価方法】 この授業では、欠席回数が多い場合は単位を与えない。評価は、出席点、講読文献に対するコメント（4回：電子メールで提出）、レポート（ワープロ講習課題、GEMMA講習課題、自由テーマによる最終レポート）などに基いて行う。

【テキスト】 テキストは使用しない。講読文献などの教材を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20107 20110	人文学基礎演習 I [HJ]	必	春学期	各2	1	丸山 徹 加藤 俊一 土田 友章 辻本 裕成	
他の科目との関連						履修対象学科	日本文化

【講義内容】 人文学の諸領域を学ぶための基礎となる知識、技法を習得することを目的とする。そのために、文献探索の方法、コンピュータの利用、レポートの書き方について学ぶとともに、人文学各領域の基礎的な論文を取り上げて講読・討議することによって、さまざまな問題について批判的に検討する態度を養う。

【講義計画】 四人の教員が日本文化・日本文学・日本語学・日本語教育の四つの領域から日本・日本語を探る視点を紹介する。
オムニバス方式で行うが、この中にはコンピュータの利用も含まれる。
○コンピュータの操作および資料探索の方法
1. 電子メールの利用法、2. ワードプロの利用法、3. インターネットでの資料収集、4. 図書館での資料検索の方法

○四分野の講義

1. 人間が言語を操ることができる謎と日本語の特性にせまる
2. 日本語教育の諸問題を、国内・海外の問題と絡めて、検討する
3. 人間とことばと文化：日本文化と日本語
4. 古典文学入門：図書館で貴重書（江戸時代写本、版本）を見る

【評価方法】 総合的に評価する。実習なども含まれること、オムニバス方式で3回単位で教員が代わっていくことなどから、欠席のないように。各教員から、小レポートや学期末のレポートなどの提出が指示される。課題、宿題、レポートに関する連絡にも電子メールが活用される。

- 【テキスト】
1. 日本文化：プリント教材
 2. 日本文学：プリント教材
 3. 日本語学：プリント教材
 4. 日本語教育：プリント教材

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20121	人文学基礎演習Ⅱ [HC]	必	秋学期	2	1	長倉 久子	
他の科目との関連						履修対象学科	キリスト教

【講義内容】 西方キリスト教思想を築いた思想家たちの著作のうちから代表的なものを取り上げて読みながら、思想の形成に必要な論理的な思考法を学んでいく。

【評価方法】 授業への参加度とレポートないし筆記試験。

【テキスト】 授業中にプリントその他を配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20125 20126	人文学基礎演習Ⅱ [HP]	必	秋学期	2	1	林 雅代 神谷 俊次 加藤 隆雄	
他の科目との関連						履修対象学科	心理人間

【講義内容】 人文学基礎演習Ⅰで習得した知識、技法を活用し、少人数グループごとに研究テーマを設定し、必要な資料を収集・整理し、グループごとの研究発表、討論を行う。

- 【講義計画】
- (1) 授業概要説明、クラス分け (A・B・C・D)、研究テーマ別グループ分け
 - (2) グループ別テーマの検討
 - (3) 図書館利用講習会 (中級)
 - (4) グループ別テーマの決定、資料収集・発表計画の作成
 - (5) 人間科学の方法 1
 - (6) 人間科学の方法 2
 - (7) グループ別資料収集作業
 - (8) グループ別資料まとめ作業
 - (9) グループ別発表用レジュメの作成
 - (10) グループ別研究発表・討論 1
 - (11) グループ別研究発表・討論 2
 - (12) グループ別研究発表・討論 3

【評価方法】 出席、研究発表、レポート課題により評価する。

【テキスト】 使用しない。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20127) 20130	人文学基礎演習Ⅱ [H J]	必	秋学期	各2	1	町田 奈々子 細谷 博 坂本 正進 櫻井	
他の科目との関連						履修対象学科	日本文化

【講義内容】 日本文学・日本語・日本文化・日本語教育の4分野の教員が、それぞれ3コマずつ、各分野の入門的授業を行なう。あわせて、コンピューター利用の実習も行なう。

【講義計画】

- 近代文字のすぐれた短編を対象に、読むことの訓練を行う。 (日本文学)
- このクラスでは、日本語の諸現象にふれ、日本語を客観的に分析、研究する分野を紹介する。以下の三分野の中から、学生の身近な問題を取り上げ、討論しながら考える訓練を行う。
 - 1 日本語の文法
 - 2 日本語の獲得
 - 3 日本語と社会 (日本語)
- 〈話題〉
 - 1 日本文化をどう捉えるのか——世界中の日本文化
 - 2 日本文化の多様性——「日本」は均質存社会か
 - 3 日本文化の深層に潜むもの (日本文化)
- 以下のような内容で受講生全員と考えてみる。
 - 1) 外国人に対する日本語教授法というのはいかような教授法であるべきか。
 - 2) 日本語教育で用いるテキストには、どのようなものがあり、どのような特徴があるのか。
 - 3) 無意識に母語を獲得した母語習得と、かなり意識的に学習した外国語習得の間には、いかなる類似点、相違点があるのだろうか。 (日本語教育)

【評価方法】 授業への積極的な参加、及びレポート

【テキスト】 プリント教材を配布する。
太宰治『女生徒』(角川文庫)——細谷担当分

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20401	人文学基礎論 (神学研究入門)	選必	春学期	2	1	MARX Hans Jürgen	
他の科目との関連	神学全科目履修のための準備科目。					他学科履修	可

【副題】 神学とは何か

【講義内容】 神学の対象は「神」であるとも言えるが、現代の学問論の立場をとるなら「キリスト教伝承」を対象とみなした方が適切である。本講では神学は「キリスト教伝承」の由来、その今日的意義および実践的な帰結を明らかにする学問であることを示す。

【講義計画】

- (1) 古代の遺産
 - i) 二つの文化圏
 - ii) 異教の貢献
 - iii) キリスト教の台頭
 - iv) 聖書から教理への展開
 - v) 教父
- (2) 中世・近世の貢献
 - i) スコラ神学の誕生
 - ii) スコラ神学の最盛期
 - iii) 近代神学
- (3) 現代の課題
 - i) 学問といえるものか
 - ii) 学界における位置づけ
 - iii) 神学の組み立て

【評価方法】 筆記試験、出席、授業態度等から総合的に評価する。

【テキスト】 講義録プリント（講義前配布）

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20406	人文学基礎論（キリスト教文化入門）	選必	秋学期	2	1	大森 正樹	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 人文学そのものは西欧において展開・発展してきたが、その人文学の根幹の一つはキリスト教であった。だから人文学に近づくためにはキリスト教を知る必要があり、そのためにはキリスト教文化の理解が必須となる。また西洋の文化はキリスト教の知識がそなわってこそ十分に理解されるものであるから、その知識なくしては表層的な理解しかえられない。そこでこの授業では西洋文化の根底であるキリスト教文化の様々な相を概観し、キリスト教文化を研究していく上で必要な事柄についても触れていく。

【講義計画】

1. ユダヤ＝キリスト教の根本的な考え方——創造論と時間論、等
2. 聖典の問題
3. キリスト教文化研究の基礎——言語等の問題
4. 神学と哲学の関係
5. キリスト教諸派（簡単なキリスト教史も含む）
6. キリスト教と芸術（美術・音楽・建築、等）
7. キリスト教と法

【評価方法】 授業の出席とレポートによる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20411	人文学基礎論（哲学人間学入門）	選必	秋学期	2	1・2	小池 英光	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 知識と行為の基本問題

【講義内容】 否でもやってくる日々の暮しは何の変哲もなく見えるけれど、一度視点を変えてみると、この世界は不思議に満ち満ちて来る。ものものを結んでいた絆は断ち切れ、必然性も消え失せる。外の世界は存在するのか、それは長く続く夢ではないのか、心と身体は別物か、時間は実在するか、私達は自由意志を持つか、神は経験によって知られるか、目的は手段を正当化するか、永遠不変の道徳的規則はあるか、人生の意味は何か、などが哲学の分野でいう認識論と倫理学の基本問題である。これら基本問題のいくつかを取り上げ、その問題点と古代の哲学から現代に至るまでの回答の試みを通覧し、現代の到達点を明らかにする。

【講義計画】 トマス・ナーゲルによる入門書（訳書）をテキストとして使用し、その項目に添ってテキストの理解と補足的な解説を行なう。明快な英文を読むことの楽しさを味わうとともに英語力の向上にも役立つこともめざしている。

〈主要項目〉

1. 序論：哲学は何を扱うか。
2. 外界を知ることはできるか。
3. 他人の心
4. 心と身体は別物か。
5. 言葉の意味と役割
6. あなたは自由ですか。
7. 正しいことと誤っていること。
8. 正義はあるか。
9. 死について
10. 人生の意味

【評価方法】 レポーターにはテキストの和訳と解説、また必要に応じて調査・研究を求め、これを平常点とする。その他に期末の試験とレポートで評価する。

【テキスト】 トマス・ナーゲル『哲学ってどんなこと』昭和堂

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20416	人文学基礎論（文化人類学入門）	選必	春学期	2	1・2	森部 一	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 文化とは何かということを文化人類学という学問の性格やその研究成果に基づいて概説する。

- 【講義計画】
1. 文化人類学とは何か
 2. 人間と文化
 3. 文化の性質
 4. 宗教文化
 5. 社会組織

【評価方法】 定期試験の結果と出席を重視して評価する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20421	人文学基礎論（考古学入門）	選必	秋学期	2	1・2	重松 和男	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 ここでは、考古学・文化史コースの入門編で、かつ他コース・他学科の学生にも理解しやすい内容を講義する。考古学と文化史についての、ごく簡単な考え方などについての導入部につづき、方法論や研究史・現状などの基礎を講義したあとで、考古学の発掘調査や研究、生活文化史的研究についての若干の実例を挙げて、理解を深める予定である。

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 なし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20426	人文学基礎論（言語学入門）	選必	秋学期	2	1・2	斎藤 衛	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 文法論概説。文法分析の基礎を学びながら、人間の言語知識とはいかなるものであるかを考える。日本語、英語を例にとり、表層的には極めて異なる言語が、より抽象的なレベルでは同一の文法原理に従っていることを明らかにする。

- 【講義計画】
1. 心理学としての言語学：現代言語学がめざすところ
 2. 音韻論：人間言語における音のシステム
 3. 文構造と文法原理：束縛原理（C）を中心に
 4. 人間言語の特殊性：移動現象と島の制約
 5. 比較文法論：日英語の相違をめぐって

【評価方法】 練習問題と試験

【テキスト】 特に用いない。参考文献等については、授業中に紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20431 20432	人文学基礎論（教育科学入門）	選必	春学期 秋学期	各2	1・2	加藤 隆雄
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 心理学や教育学を中心とした領域の基礎的な概念に触れながら、発達、文化、社会の諸側面から人間をとらえ、人間理解を深めていく。

- 【講義計画】
- 現代における子どもと教育の変容
学歴社会／学校問題／少年犯罪
学校の歴史（1） 古代～中世
 - 学校の歴史（2） 中世～近代
大学の誕生／公教育思想の出現
 - 近代における〈学校〉の誕生（1）ドイツ
コメニウス『大教授学』／プロイセンの教育政策
 - 近代における〈学校〉の誕生（2）フランス
イエズス会／ラ・シャロット／フランス革命／コンドルセ
 - 近代における〈学校〉の誕生（3）イギリス
ペル＝ランカスター方式／パノプティコン／パブリックスクール
 - 近代における〈教育〉の誕生（1）
ルソー『エミール』／児童中心主義
 - 近代における〈教育〉の誕生（2）
ペスタロッチ／フレーベルと幼稚園
 - 近代における〈子ども〉の誕生（1）
アリエス『〈子供〉の誕生』／マンタリテ／育児の歴史
 - 近代における〈子ども〉の誕生（2）
〈子ども〉の誕生と社会構造の変動／近代家族
 - 児童文学の誕生
ペロー／『ガリヴァ旅行記』／初版グリム／チャップブックス
 - 児童文学の発展
『ハイジ』／『ピーター・パン』／『桃太郎』／『赤い鳥』
 - 児童科学の誕生と発展（1）
ダーウィン／ホール／ビネー／フロイト／ピアジェ
 - 児童科学の誕生と発展（2）
デューイ／モンテッソーリ／新教育運動

【評価方法】 定期試験に出席点を加味。

【テキスト】 特に用いない。参考書は講義時に指示。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20436 20437	人文学基礎論（人間関係論入門）	選必	春学期 秋学期	各2	1・2	中村 和彦
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 人間関係を自らの体験から学ぶ（ラボラトリー方式による人間関係の体験学習入門）

【講義内容】 この授業では、人間関係を巡る諸問題を取り上げ、心理学的な理解と体験を通しての主体的な理解に取り組む。

【講義計画】 人間関係を学ぶ際には、先人が見出した理論から学ぶ方法（心理学や社会学などの学問から学ぶ）と、自らの体験から自分自身の人間関係を学ぶ方法（体験学習）があります。前者は、普遍的な人間関係の原理を整理するために役立ち、後者は自分自身の人間関係の持ち方について、直接的にふりかえり、気づき、自己の成長につなげることが可能となります。この授業では、後者の体験学習の方法を用いながら、体験から学ぶエッセンスを考えていくとともに、自らの人間関係の持ち方についていくつかの側面から光を当てながら自分自身を知っていくことを目的とします。

各授業は、(1)いくつかの簡単な〔実習の体験〕、(2)その実習での自分や他者の言動・影響関係についての〔ふりかえり〕、(3)実習における学生の皆さんの学びを促進するための〔小講義〕、から構成されます。実習形式を中心にして進めていきます。

実習としては、a) 自分自身の特徴について、b) 自分自身のコミュニケーションについて、c) グループでの人間関係について、体験できるものを提供します。また、小講義では、a) 体験からいかに学ぶかというモデルの提示、b) 人間関係を考える際にポイントとなる原理（例えば、効果的なコミュニケーションのためにはどんなことが必要なのか、異なった価値観を持つ人同士がわかりあっていくためには何が必要か、などのテーマ）、について扱っていきます。

【評価方法】 出席及びレポートの提出によって評価します。なお、体験学習で進めるため、実習への体験を重要視します。そのため、欠席が全授業数の1/6を超えた場合は、体験の不足を補うための追加課題の提出を求めます。

【テキスト】 人間関係トレーニング——私を育てる教育への人間学的アプローチ——
津村俊充・山口真人（編） ナカニシヤ出版

【その他】 体験学習方式は、学生の皆さんが主体的に参加し、自ら学ぶ教育方法です。ふりかえり際には、他の学生からあなた自身の特徴についてフィードバックを受ける機会もあります。受講生の皆さんの積極的・主体的な関与を期待しています。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20441	人文学基礎論（日本文学入門）	選必	春学期	2	1・2	高橋 公明	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 8-17世紀の東アジアの国際関係

【講義内容】 日本列島内に閉じた空間の出来事として日本史を考えるのではなく、その周辺地域との関わりを重視する。東アジアという地域的な広がりの中で古代・中世の日本をどのように位置づけるのかを考える。とくに戦争を含む外交関係に焦点を合わせ、政治的な場としての東アジアについて検討する。

【講義計画】 (1) 古代東アジアの概観：華と夷
(2) 中心-周縁的世界観の伝播：東夷の小国の華夷意識
(3) 日本の表玄関：博多から敦賀まで
(4) モンゴルの衝撃：三別抄の乱、元寇
(5) 華夷秩序の再構成：明と周辺諸国、冊封関係
(6) 武家政権の外交：日本国王と征夷大將軍
(7) 朝鮮と日本列島：多元的外交関係、朝鮮遣使ブーム
(8) 交易立国琉球：明・東南アジア・朝鮮・日本
(9) 明清交替と海域世界の変貌：中国人海商、ヨーロッパ人、朱印船貿易

〈授業の進め方〉

短い講義と比較的長い質疑応答を中心とする。毎回、30分程度でできる簡単な準備作業を指示する。

【評価方法】 (1) 比較的短い宿題（A4で1枚程度） 2回 50%
(2) 学期末報告（A4で3枚程度） 50%

【テキスト】 なし

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20446	人文学基礎論（日本文学入門）	選必	秋学期	2	1・2	榊原 千鶴	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 『平家物語』の享受をめぐる

【講義内容】 日本文学概論に相当。日本文学について基礎的ではあるが研究的なレベルにおいて享受するのに必要と思われる知見を提供することを目的とする。テキスト、テキストチュア、コンテキストの三つの位相において日本文学の作品を扱うための方法を、古典と近現代の文学作品を対象にできるかぎり具体的に講義する。

【講義計画】 ひとつの文学作品が後世にどのような影響を与えたか。『平家物語』を手掛りとして、享受の諸相とその背景にある時代相を考える。
下記の項目を中心に講義を進める。

1. “古典”とは。
2. 享受の諸相。
 - a. 近世初期にみる享受の背景。
 - ・ある半人の著述活動を通して。
 - ・女訓と『平家物語』。
 - b. 近世後期にみる享受の一端。
 - ・落人伝説の意味するもの。
 - ・安徳天皇異聞。

【評価方法】 定期試験の成績に平常点を加えて評価する。

【テキスト】 随時プリントを配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20451	人文学基礎論（日本語学入門）	選必	春学期	2	1・2	齋藤 文俊
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 日本語学入門

【講義内容】 観念としての「ひとつの統一」すなわち「日本語」を表すものとして明治の人達がまず選んだ表現、それは「日本語」ではなく「国語」であった。それにはそれなりの非言語的文脈があったといえる。この「国語」ということばにこだわりながら、「国語学」「日本語学」「言語学」三者の関係について考える。

【講義計画】 現在、日本語では、漢字・ひらがな・カタカナ・ROMAJIと、四種類もの文字を使用し、和語・漢語・外来語を織り交ぜて文章を書いている。本講義では、日本語が、異文化を受容しつつ、これまでどのような変化をし、またこの先どのような変化をするのか、そして、さらにその日本語を明治期に「国語」として確立しようとする際にどのような問題が生じたか、などについて考えていく。

1. 漢字・ひらがな・カタカナ・ROMAJI
 - 1-1. 文字の定義と分類
 - 1-2. 五十音図といろは歌
 - 1-3. 漢字から仮名へ
 - 1-4. ローマ字との出会い
 - 1-5. 日本語の表記
 - 1-6. 漢字の長所・短所
 - 1-7. 「国語」の中の漢字
 - 1-8. 漢字の未来（漢字とコンピュータ）
2. 和語・漢語・外来語
 - 2-1. 外来語とは
 - 2-2. 漢語の歴史
 - 2-3. 和語と漢語と外来語
 - 2-4. 外来語の影響

【評価方法】 出席、課題図書の手評2回、及び期末レポート

【テキスト】 以下の2冊を本講義の課題図書とし、それぞれ手評を課す
鈴木孝夫『日本語と外国語』岩波新書101
清水義範『言葉の戦争1・2』『言葉の国』集英社文庫

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20456	人文学基礎論（日本語教育入門）	選必	秋学期	2	1・2	大曾 美恵子	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 外国語としての日本語教育の現状と問題点を概観する。音声・語彙・表記・教材等について教師に求められる基本的知識を学習するとともに、四技能の指導の仕方についても考える。

【講義計画】

- 1 日本語教育の現状の紹介
- 2 日本語の音声（単音、アクセント、イントネーション）
- 3 日本語の表記法（仮名、漢字）
- 4 日本語の文法（語順、活用、助詞、アスペクト、ヴォイス等）

【評価方法】 期末試験による。

【テキスト】 プリントによる。

【その他】 参考書：Mizutani, Osamu and Nobuko Mizutani(1997) An Introduction to Modern Japanese, The Japan Times.
野田尚史（1991）『はじめての人の日本語文法』くろしお出版

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20601	日本史概説	選	春学期	2	2～4	青山 幹哉	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 中世武士社会の成立

【講義内容】 武士社会の成立は日本列島の歴史に大きな変動を与えた。本講義では、殺人という職能者が「侍」という身分を獲得していく平安後期から、東国国家を形成し独自の法体系を確立するようになる鎌倉期までを対象とし、他の東アジア諸国とは異なる歴史を歩み始めた中世日本の特質を考える。

【講義計画】

1. 殺生するもの－武士の原像－
2. 弓と馬
3. 都の武士
4. 国衙の武士
5. 在地領主
6. 軍記物にみる戦闘法の変化
7. 源氏と平氏
8. 東国国家の勝利
9. 武家法と裁判システム
10. 中世日本の分岐点

【評価方法】 学期末における筆記試験および随時に課す小レポートにより評価。

【テキスト】 特に指定しないが、参考文献として以下の書を挙げておく。
関 幸彦『武士の誕生』（NHKブックス868）日本放送出版協会、1999年
五味文彦『殺生と信仰－武士を探る－』角川選書280、1997年
近藤好和『弓矢と刀剣』（歴史文化ライブラリー20）吉川弘文館、1997年
元木泰雄『武士の成立』吉川弘文館、1994年
千葉徳爾『たたかひの原像』平凡社選書139、1991年
石井 進『鎌倉武士の実像』平凡社選書108、1987年
佐藤進一『日本の中世国家』岩波書店、1983年（モダンクラシックス版、2001年）
その他、授業の中で適宜紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20606	世界史概説	選	秋学期	2	2～4	SZIPPL Richard
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】

19・20世紀の世界

西暦1500年頃から、世界各地の文明圏を結ぶ地球的なレベルでの交流が可能となり、「近代的」な世界が成立し、世界の一体化が始まった。16世紀から18世紀までの間、文化的・経済的・政治的な勢力を強化したヨーロッパの諸国は、19世紀までにはほぼ全世界を支配するようになった。しかし、20世紀になると、この支配に抵抗する運動によってヨーロッパの世界支配が崩れ、新しい世界秩序が形成されつつある。

講義のテーマとしては、ヨーロッパの世界支配の成立・衰退・崩壊と世界の新しい秩序の形成、現代世界の動きなどを取り上げたい。

【講義計画】

本講義においては、下記の諸項目のもと、ヨーロッパの世界覇権とそれに対する反応に焦点を当てて、一体化しつつある近代世界の歴史の流れを考えていく。

1. ヨーロッパ化された南北アメリカ大陸
2. 直接的に支配されたインド
3. 直接的に支配されたアフリカ
4. 間接的に支配された中国
5. 間接的に支配された中近東
6. ヨーロッパの世界支配の衰退と崩壊
7. 第一次世界大戦
8. 第二次世界大戦
9. 冷戦時代の世界
10. 冷戦後時代の世界

【評価方法】

試験の結果を中心に評価するが、出席も重視する。

【テキスト】

テキストや参考文献については、講義中に指示する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20611	東洋史概説	選	春学期	2	2～4	西江 清高
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】

中国大陸を舞台とした初期農耕社会の起源と発達、初期王朝の出現、中華帝国の成立、東アジア世界の形成といった大きな歴史の動向について、文献史学と考古学の両面から幅広く講ずる。また、前近代にはじまり今日にいたるこの方面の研究史についても触れ、それぞれの時代を背景として、古代の社会と文化に対する人々の眼差しがどのように変化してきたのかを考察したい。

【講義計画】

中国史上の諸問題を、「地域」の視点から見ていく方法を探っていきたい。

- ①中国大陸の地理的環境
- ②中国史の枠組み
- ③西安から見た中国の歴史
- ④洛陽から見た中国の歴史
- ⑤北京から見た中国の歴史

【評価方法】

学期末に試験を行なう。

【テキスト】

参考文献：『中国の歴史散歩』①～④、山川出版社
その他、必要に応じてプリントを配布する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
20616	自然地理学概論	選	春学期	2	2~4	岡本 耕平
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 風景のなかの自然地理A

【講義内容】 名古屋市及びその周辺地域の自然環境について様々な側面から考察する。濃尾平野の南西部は木曾三川が形成した広大な沖積平野であり、豊かな水田地帯である一方で、古くより洪水の常襲地域であった。濃尾平野の南東部は、熱田台地から八事丘陵へと続き、名古屋市の中心市街地は、熱田台地の上に形成された。講義では、このように、単なる地形の成因や形状だけでなく、災害や開発史、土地利用や産業と地形の関わりについて考察する。さらに、この地域の気候や植生などの自然環境についても論じる。

【講義計画】 私たちはいかに豊かな自然の中で生活しているのか。開発、災害、環境保全、資源利用などで、人間活動は自然とどのように関わっているのか。環境問題にどのように対処すればよいのか。こうした点を考える上で基礎となる自然地理学の基本的な視点と考え方を学ぶ。

- I 火山
 - 1. 火山の自然
 - 2. 火山の恵み
 - 3. 火山災害
- II 山と川
 - 4. 河谷と洞川の作用
 - 5. 斜面地形と地形災害
 - 6. 山地の発達
- III 森林
 - 7. 森の自然
 - 8. 森と人間
 - 9. 気候変化と植生と人間
- IV 台地・丘陵
 - 10. 武蔵野台地の自然と開発
 - 11. 江戸と東京の自然資源
 - 12. 台地・丘陵の地形と地形改変

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 杉谷隆・平井幸弘・松本淳『風景のなかの自然地理』（古今書院、1993年）¥2,500
※講義では、テキスト中の地図を多用する。

科目コード	科 目 名	指定	期 間	単位	年次	担 当 者
20621	人文地理学概論	選	秋学期	2	2~4	岡本 耕平
他の科目との関連						他学科履修可

【副 題】 都市地理学

【講義内容】 「生産と生活」「地域と環境」というそれぞれ2つのキーワードからなる対概念を軸に、人文地理学の新しい考え方や話題について論じる。まず「生活と生産」では、農業・工業・商業・サービス業などの歴史的展開と今日的な位置づけについて概観し、これらの産業と人々の生活との関係について考える。次に「地域と環境」については、特に「都市」を題材とし、都市という地域がどのような構造と機能をもつか、また、都市に生活する人々が、都市という環境とどのように関わって生活しているかについて考察する。

【講義計画】 都市という地域がどのような構造と機能をもつかについて、いくつかの考え方を紹介する。さらに、都

市に生活する人々が、都市という環境からどのような影響を受け、また、どのような影響を与えているのかについて検討する。

- 1 都市の概観
- 2 都市の立地と機能
- 3 都市システム
- 4 名古屋の都市形成史
- 5 近代都市の形成
- 6 大都市圏の形成
- 7 大都市圏の構造変容
- 8 都市の内部構造
- 9 都市計画

【評価方法】 筆記試験

【テキスト】 特になし。講義の中で参考文献を紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20626	地誌概論	選	秋学期	2	2~4	小谷 凱宣
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 後氷期における人類の居住条件の変遷

【講義内容】 地形学、第四紀地質学、古生物学、花粉分析学などの研究方法と成果に基づいて、ヒトと環境の関係、なかでも、ヒトの居住地域の変遷と環境変化の諸問題を考えてゆく。それにより、ヒトと環境との関係の長期的な変化を考察する。また、この問題を理解するために、最後の氷河期（第4氷河期）の最寒期から現在までの約2万年間の自然環境の変化と人類の環境適応との関係のあり方について考察し、ヒトと環境との関係の理解を深める。とくに、生産経済活動の開始と古代文明成立以降の人類と環境との関係は、いま人類社会が直面している地球規模の環境問題と深く関連するので、その本質の理解を目指す。

【講義計画】

- 1、ヒトと環境との関係；ヒトの環境適応の特殊性
- 2、第四紀の時代区分
- 3、年代決定方法（概略）
- 4、環境変化の歴史とヒトの文化発展との関係
 - a) 気候・気温の変化、b) 動植物相の変化、c) 海水面の変化と海岸線の変化、d) 氷河地形と氷河の消長、e) 日本列島周辺の人類居住可能地域の変遷
- 5、環境変化が人類の生活に与えた影響、人類が環境に与えた影響；
 - 一後氷期の環境変化とヒトの居住空間の変遷（まとめ）

【評価方法】 レポートと筆記試験
各自に名古屋北部・南部の1/25,000の地形図をもとに、作業してもらう。さらに、1880年前後、1950年前後、1990年代の3種類の名古屋市の地形図をもとに、最近の約1世紀間の名古屋市の変化について、レポートを作成してもらう。
提出されたりポートと学期末試験の成績とを総合して評価する予定である。

【テキスト】 参考文献リストを最初の時間に配布する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20631	宗教学概論	選	春学期	2	2~4	KISALA Robert
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 宗教の社会的機能

【講義内容】 宗教学の成立および歴史をたどりながら、宗教の社会的機能、宗教変化の社会的要因などを説明するこの学問の主な理論を検討する。

【講義計画】 講義を主とするが、受講者の積極的貢献を期待する。

【評価方法】 講義への積極的参加とレポートの提出によって評価を行う。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20636	倫理学概論	選	春学期	2	2~4	谷口 佳津宏	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 西洋倫理学史第1部

【講義内容】 倫理学の中心的問題である人間の行為や善悪の基準などについての理解を深めるために、その考察に必要な倫理学上の基本的概念を解説するとともに、功利主義、快楽主義、価値倫理学、義務倫理学などの代表的な倫理学説を紹介し、その理論としての有効性を検討する。

【講義計画】 上記の内容をふまえ、倫理学とは何かについて説明した後、具体的には、以下の哲学者の倫理学説について解説する。
 1. ソクラテス
 2. プラトン
 3. アリストテレス

【評価方法】 非論述式、持ち込み不可による期末試験で評価する。毎回出欠をとるが、5回までの欠席は成績には何ら関係しない。6回以上の欠席は受験資格を失う。

【テキスト】 原典資料抜粋集をテキストとして用いる。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20641	哲学概論	選	春学期	2	2~4	服部 裕幸	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 ロボットや人工知能の可能性、クローン生物の可能性、といった現代の問題を取り上げ、存在論、認識論、倫理学、論理学、の各分野からそれらがどのような仕方と考えられるかを検討することによって、哲学的にものを考えるとはいかなることか、またどのようなものが哲学の基本問題なのかを概説する。

【講義計画】 1 哲学とは何か？素朴な疑問を捨て置かず、とことん追求するのが哲学

以下、次のような問題を手がかりにして順次、存在論的問題、認識論的問題、論理学的問題、倫理学的問題を考察していく予定である。

- 2 科学者はこの世界が素粒子から出来ていると言うが、それはどういうことなのだろうか？
- 3 また、そう考えたとき、人間の精神のようなものはどうなるのか？
- 4 ルールはなぜあるのか、また守らなければならないのか？ルールは地域や時代によって異なるものと言うが、普遍的なルールというのはないのか？

出来るだけ学生諸君と議論しながら授業を進めようになりたいと思っている。

【評価方法】 基本的には学期末に実施するテストによって評価するが、可能であれば出席状況をも加味したい。

【テキスト】 特定の教科書は使用しないが、次の文献を参考書として推薦する。
 沢田允茂、黒田亘編『哲学への招待』有斐閣
 野矢茂樹著『哲学の謎』講談社現代新書

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20646	社会学概論A	選	春学期	2	2～4	藤本 哲史	
他の科目との関連	外国語学部開講科目 [40171]「社会学研究の基礎」と同じ					他学科履修	可

【講義内容】 外国語学部開講科目 (40171)「社会学研究の基礎 (アメリカ)」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20651	社会学概論B	選	秋学期	2	2～4	松戸 庸子	
他の科目との関連	外国語学部開講科目 [40176]「社会学研究の基礎」と同じ					他学科履修	可

【講義内容】 外国語学部開講科目 [40176]「社会学研究の基礎 (アジア)」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20656	経済学概論A (国際経済を含む)	選	春学期	2	2～4	西村 貞雄	
他の科目との関連	外国語学部開講科目 [40211]「経済研究の基礎 (ミクロ経済学)」と同じ					他学科履修	可

【講義内容】 外国語学部開講科目 [40211]「経済研究の基礎 (ミクロ経済学)」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20661	経済学概論B (国際経済を含む)	選	秋学期	2	2～4	野村 信廣	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 現代の日本経済の姿を海外経済と比較しつつ理解する

【講義内容】 現代の日本経済がどのような経路を辿り、現在のようなシステムを作り、そのシステムがいかに機能しているか、また、課題がどのように発生してきたかなどを学ぶ。その際、海外経済と比較しながら学ぶ。

【講義計画】 テキストの内容をまず理解することからスタートし、必要に応じて関連の資料を用意して、理解度を高める。それと同時に学生達にカレント・トピックスに関してコメントさせたり、宿題を提出させ、経済や経済学を身近なものにしてもらう。

【評価方法】 学期末の筆記テスト、平常のコメント、宿題、講義などの参加度、出席状況などを加味して総合的に評価する。

【テキスト】 橋本寿朗・長谷川信・宮島英昭著「現代日本経済」(有斐閣)

【その他】 無し

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20666	政治学概論（国際政治を含む）	選	春学期	2	2～4	菊池 理夫	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 現代の政治の基本的問題を理解するために、現代の政治学の理論や基本概念を明らかにしていくことを目的としたい。同時に、変動が激しい国内、国際政治の動向をふまえ、時事的な問題にも言及し、できるだけ身近で、具体的な問題として政治を論じることによって、政治に無関心な学生にも、少しでも関心を持ってもらいたい。

【講義計画】 以下の順序で講義を進めていく予定である。

- I. 政治と民主主義
- II. 政治権力とは何か
- III. 各国の政治制度
- IV. 国際政治の動向

【評価方法】 基本的には論述形式の筆記試験によって評価するが、少人数の授業となったときは、出席も考慮する。

【テキスト】 堀江 湛・岡澤憲美編『現代政治学』法学書院

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20671	法学概論（国際法を含む）	選	春学期	2	2～4	青木清(前半) 岡田泉(後半)	
他の科目との関連						履修対象学科	可

【講義内容】 法学上のトピックをいくつか取り上げ、それらを考えることにより、法的な枠組みや法的な思考方法を理解することにつとめる。取り上げる話題は、その時々により変化するが、私たちの身の回りで起きている出来事や、国際社会で発生している問題などを予定している。

【講義計画】 おおよそ下記のようなテーマで、各回の講義を行う。

- 第1回 ケーキの分け方——法律学への誘い
- 第2回 法律学の世界——法の体系・構成、六法の使い方
- 第3回 日本社会と法——近代法の導入（外国法の影響）、法典論争、法意識
- 第4回 契約と法——契約自由の原則、附合契約、典型契約各種の紹介
- 第5回 事故と補償——不法行為、過失責任主義、製造物責任
- 第6回 家族関係と法——婚姻、親子、相続
(以上、青木)
- 第7回 国際法の課題——国連と国際法、条約の締結
- 第8回 戦争、武力行使の規制——国際連盟、不戦条約、国連憲章
- 第9回 安全保障と自衛権——集団安全保障体制、地域同盟、地域紛争
- 第10回 日本の平和と安全——安保条約、国内法、裁判事例
- 第11回 核兵器と国際法と日本——原爆裁判、ICJ、非核三原則
- 第12回 国際犯罪と国際法——国家管轄権と国際刑事裁判所
(以上、岡田)

【評価方法】 受講状況（出席、受講態度、質問）、レポート、定期試験を総合的に評価します。

【テキスト】 教科書は特に用いないが、講義には、小型のものでもかまわないので必ず「六法」を持参すること。参考書は講義中に適宜紹介する。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20676	視聴覚メディア論	選	春学期	2	2~4	大西 誠	
他の科目との関連	博物館に関する科目 [09521]「視聴覚教育メディア論」と同じ					他学科履修	可

【副題】 情報化社会と教育メディア

【講義内容】 現代社会の一特徴である視聴覚メディアは、博物館や美術館における展示のあり方や普及の諸活動と密接な関連をもつ。本講義では、生涯学習のための一手段として、発達した視聴覚メディアをどのように活用するべきかについて、その基本から応用までを論じる。

【講義計画】 メディアの教育利用の発展をたどるとともに、情報化社会におけるメディアのあり方や教育との関わりを探る。特にメディアの教育性に目を向け、歴史的事実と社会的文脈の中で「学校」という場における視聴覚教育メディアの意義を再確認する。本講義では、通常見過ごされがちなマスメディアの発信する一般的な情報の中に教育的価値を見出したり批判的な物の見方をする態度も身につけたい。また新しいメディアであるコンピュータと教育のかかわりや学校教育で求められている総合的学習と情報教育もとりあげ、新しい動きについてもフォローしたい。

以下のような項目について映像を交えながら講義する。

- 放送と教育
- コンピュータと教育
- マルチメディアと教育
- 視聴覚教育メディアの源流
- 学校というメディア
- 博物館というメディア
- メディアと人権
- メディア リテラシー

【評価方法】 ショートテストと学期末レポートを課す。

【テキスト】 特になし

【その他】 私語厳禁

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20681	情報組織化論	選	春学期	2	2~4	鈴木 志元	
他の科目との関連	司書に関する科目 [09720]「情報組織化論」と同じ					他学科履修	可

【講義内容】 司書に関する科目 [09720]「情報組織化論」を参照。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20686	子ども・青年論	選	秋学期	2	2~4	林 雅代	
他の科目との関連						他学科履修	可

【副題】 青少年問題からみた社会の変容

【講義内容】 子どもや青年について、過去・現在・未来という時間軸に沿って、あるいは学校・家庭・地域・労働市場といった社会の諸機関との関わりという観点から、さらには子ども・若者文化といった現象面から多角的に考察する。

- 【講義計画】
- | | |
|---------------------------|---------------------------|
| (1) イントロダクション | (7) 青少年非行の発生と抑止に関する理論 (3) |
| (2) 青少年非行の現状認識 (1) | (8) 青少年非行概念の起源 |
| (3) 青少年非行の現状認識 (2) | (9) 青少年非行と階層・家庭・学校 |
| (4) 青少年非行とマスメディア報道 | (10) 社会変動と少年司法の変容 (1) |
| (5) 青少年非行の発生と抑止に関する理論 (1) | (11) 社会変動と少年司法の変容 (2) |
| (6) 青少年非行の発生と抑止に関する理論 (2) | (12) まとめ |

【評価方法】 授業時の小レポートおよび学期末試験によって評価する。

【テキスト】 特に指定しない。参考文献を随時提示する予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20691	ジェンダー論	選	秋学期	2	2~4	加藤 隆雄
他の科目との関連						他学科履修可

【講義内容】 私たちの日常場面における行為や、学校、家庭、労働市場などのよりマクロな社会構造の中で、ジェンダーがどのような作用を及ぼしているかを考察する。

- 【講義計画】
- ジェンダーとは何か
sexとgender／セクシュアリティ／sexism／女性学・フェミニズム・ジェンダー研究
 - 性差の科学
19世紀科学／ホルモンと攻撃性／脳科学／M尺度・F尺度
 - フェミニズムの歴史
中世の「フェミニズム」／自由主義フェミニズム／社会主義フェミニズム／ボヴォワール／イリイチ
 - フェミニズムの理論 (1)
ラディカル・フェミニズム／家父長制／フロイト派フェミニズム／エディプス・コンプレックス／チョドロウ／ディナーズタイン
 - フェミニズムの理論 (2)
マルクス主義フェミニズム／再生産労働／ガラコスタ／ソコロフ
 - 現代のフェミニズム状況
論争状況／文化フェミニズム／フェミニズム批評／バトラー
 - 社会化とジェンダー
性役割と性別社会化／モデリング理論／役割理論／道徳性の発達
 - 学校とジェンダー
かくれたカリキュラム／ジェンダー・フリー教育／進路選択／ホーナー効果
 - 職業選択と労働
M字型労働／男女雇用機会均等法／二重労働市場
 - 恋愛と結婚
 - 家事と育児
 - 社会におけるジェンダー
少女文化・女性文化／マスメディアとジェンダー
 - ジェンダー・スタディーズ
男性論／クィア・セオリー／ポストモダン社会における女性

【評価方法】 定期試験に出席点を加味。

【テキスト】 特に用いない。参考書は講義時に指示。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20696	生涯学習論	選	春学期	2	2~4	高橋 英次	
他の科目との関連	博物館に関する科目 [09516]「生涯学習論」と同じ					他学科履修	可

【副題】 生涯学習施設としての博物館

【講義内容】 従来の学校教育とは異なる社会教育に根ざした生涯学習の意義とその応用体系を理解させ、情報化社会や高齢化社会に対応して博物館・図書館などの社会教育施設が担う課題を講述する。

【講義計画】 博物館は図書館などとならんで社会教育－生涯教育の典型的な施設であるが、近年は従来の枠を大きく踏み越え、資料の収集保存や調査研究といった博物館の基本機能に加えて、市民参加性、観光化、アミューズメント性への傾斜などの多様化・娯楽化の傾向が著しい。映像や電子テクノロジーの導入によって総合的な情報伝達機能を充実させ、能動的活動を展開するなど社会的役割を変貌させつつある。
特異な対象テーマや領域など、かつてないひろがりを見せている「博物館」の現況を展望し、空間メディアによる主題表現の方法、学習や娯楽への利用の様態、情報サービスや人的ネットワークの拡大など社会教育にはたす役割について、各地事例の映像記録を中心に検討する。あわせて博覧会やエキシビジョンなどは先端的展示技術の開発機会であり、文化史のエポックを画するメモリアルでもある文化イベントの意義について考察する。

【評価方法】 事例紹介と、空間メディアの活用によるテーマ表現の方法、情報伝達の技術についての学習をふまえ、自身で博物館施設、エキシビジョンなどを調査取材し、簡潔にデータシートにまとめる作業を通じて、社会教育施設のあり方やその活動についてどのように理解し、あるいは提案的意見を提示できるかを評価する。なお、出欠席の状況も評価に加えるので、注意すること。

【テキスト】 オリジナルなコピーを配付の予定。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者	
20701	現代教育論	選	秋学期	2	2~4	加藤 隆雄	
他の科目との関連						他学科履修	可

【講義内容】 1960年代の高度成長以降、日本において出現してきた学校教育や青少年をめぐるさまざまな問題を取り上げていき、社会構造との関係を考察する。

【講義計画】

- 1 学校・教育・子ども・家族の変貌
その歴史と現状/学校・地域・家庭関係/第四空間・「第五空間」
- 2 学歴社会
経済発展と人材養成/受験競争/学歴社会/メリトクラシー/学校の機能と社会移動
- 3 教育問題の変質（1980年代）
学校問題/校内暴力・校則・体罰・いじめ/登校拒否・不登校
- 4 子どもと青年の変質（1980年代）
アリエスの衝撃/異文化としての子ども/全共闘世代からやさしい青年へ/
モラトリアム人間/新人類
- 5 学校問題のさらなる展開（1990年代）
不登校/いじめ苦自殺/いじめの理論/早期教育とお受験/学級崩壊
- 6 少年犯罪
非行と逸脱/少年犯罪の凶悪化/少年犯罪と郊外/少年法改正
- 7 家族の変貌（1990年代）
児童虐待/嗜癪と共依存/引きこもり/家庭内暴力/パラサイトシングル
- 8 教育問題の社会学
レイベリング理論/構築主義/ゲリマンダリング批判/厳格派・コンテクスト派
- 9 教育改革（1） 臨教審まで
戦後教育改革の変遷/教師の変化・教員養成政策の変遷/臨教審
- 10 教育改革（2） 1990年代以降の教育改革
ゆとりの教育/中高一貫制/総合的学習の時間/「生きる力」の教育/

「心の教育」／教育内容の削減／学校カウンセラー

- 11 大学の変貌
 トロウの三段階説／大学の大量化／1990年代の大学改革／国立大学独立行政法人化／
 大学の生き残り戦略／「メガ・ユニヴァーシティ」
- 12 学校教育の未来
- 13 子ども・家族の未来

【評価方法】 定期試験に出席点を加味。

【テキスト】 特に用いない。参考書は講義時に指示。

科目コード	科目名	指定	期間	単位	年次	担当者
20706	福祉論	選	春学期	2	2～4	葛西 修
他の科目との関連						他学科履修可

【副題】 ー今生活している時代の社会福祉とはー

【講義内容】 本講では、21世紀の福祉を学生達に問題提起し、解決方法を探ることを目指す。

【講義計画】

人は、この世に生を授かり、死ぬまでの間に様々な経験をする
 幼児期では両親との接し方、小学・中学では友人関係や教育で、高校、大学ではそのほかに正義感、サークル、ボランティア、学業、宗教、恋愛、就職して、職場の人間関係、労働問題、社会人としての繋がり、恋愛、結婚、妊娠、子供の養育、父、母の役割、余暇の過ごし方、様々な価値感との遭遇、住まいと暮らし、老後においては病気、そして死生観との出会と死。
 その間一貫して必要なことは、人々の交流、そして財政的な裏付けである。
 生活の支えとなる財源的裏付けは多くは労働による賃金である。
 その労働が病気、事故等により中断又は喪失した場合、従来の日本では、大家族のもとに家族、あるいは親類で相互援助していた。しかし産業の発展に伴い労働力が農村から大都市に移動した結果、従来の家族制度は一部を除き崩壊したため、事故等の時、家族、親類で支え合うことが困難になってきた。
 そこに社会福祉が登場する由来がある。
 人は一人で生きていけず、平凡な道はなく、様々の障害に遭遇する。
 そんな時に支えになるのが人々の繋がりであり、社会的な保障である。
 現代社会のライフスタイルは極めて多様である。
 21世紀の社会のキーワードは「少産」「少死」「高齢化」で有るといわれている。
 そこで本講義は出来るだけ上記を主に福祉を見近に、考察する為に以下講義すると共に本学の特徴であるキリスト教的社会福祉についても考察を深めたい

- 1、ライフサイクルの考察
- 2、社会福祉の概念、定義について
- 3、社会福祉サービスの対象
- 4、社会福祉の方法、技術
- 5、社会福祉の歴史と動向
- 6、各論
 - 女性と社会福祉
 - 児童と社会福祉
 - 障害者と社会福祉
 - 生活困窮者と社会福祉
 - 高齢者と社会福祉
 - 介護保険
 - 病気と社会福祉
- 7、キリスト教的社会福祉の考察
- 8、今後の課題

を柱に講義を進めたい
 講義は基本的に上記講義内容を進めるが学生の理解度、関心度を見ながら
 1、応募学生数によるが、出来るだけ主体的に自分の頭で考え、自分の言葉で話す学生になる為にグループワークによる講義を進める予定。
 2、障害の体験講義
 3、ビデオ、スライドによる講義

【評価方法】 試験と出席日数を加味する

【テキスト】 随時指定又は当方で用意する